

# 山口県中部1市4町 合併協議会だより

特別号

平成16年10月15日  
発行

## 新県都のまちづくり計画(案)の概要

今こそ  
夢をもって  
語ろうよ!

みんなて  
考えよう  
まちの未来!

TOKUJI

YAMAGUCHI

OGORI

AIO

AJISU

### 目次

- 1 将来都市像
- 2 基本理念
- 3 目標人口
- 4 中核都市づくりの方針
- 5 地域自治の方針
- 6 地域別整備の方針
- 7 基本目標と施策
- 8 未来を拓くプロジェクト(重点施策)
- 9 財政の見通し

山口県中部1市4町合併協議会では、合併後の新たなまちづくりの指針となる「新県都のまちづくり計画」の策定を進めています。この計画(案)については、各市町で実施している住民説明会での意見交換やホームページ等に寄せられたご意見等を踏まえ、確定していきます。

新県都のまちづくり計画とは

- ・新市のまちづくりの基本方針と、それに基づき合併後おおむね10年間にわたって取り組む施策を明らかにした計画です。
- ・合併の是非を判断するための重要な材料となります。
- ・合併した場合は、新市における総合的かつ計画的な行政運営の指針として、総合計画等に継承される重要な計画となります。

1 将来都市像

都市像は、新市が目指すべき都市の姿を表わしています。

新市は、恵まれた地域資源や創造と進取の精神を受け継ぎ、

ひと・まち・自然が輝き

未来を拓く新県都

を都市像とします。

将来に向けて

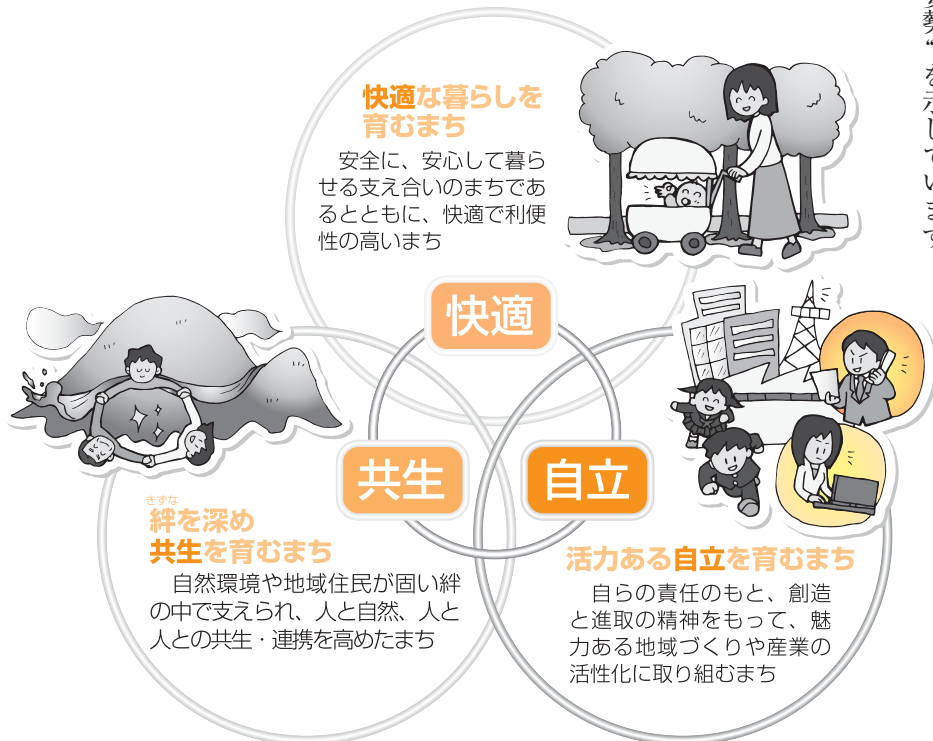
新市は、他の地域との多様な連携・交流をさらに促進するとともに、行政・文化・経済の総合的な拠点となる中心都市としての機能強化を図り、県全域に質の高い様々な都市的サービスを提供していきます。そして、さらなる広域合併の実現により、県勢の発展をけん引する人口30万人の中核都市を形成します。



2 基本理念

基本理念は、社会がどのように変化しようとも大切にしたい“まちづくりの基本姿勢”を示しています。

大切にしたい“まちづくりの基本姿勢”



3 目標人口

新市は、地理的条件や交通条件の優位性を発揮し、産業の活性化や良好な住環境の創出等に取り組むこと

によって、平成27年に20万8千人の定住人口を目指します。また、安定的な交流人口として、年間3百万人以上を目指します。

### 小郡都市核

高速交通網の結節点であるという立地特性を生かした、全国的なネットワークの拠点としての役割を担う広域交流コアを形成します。

### 山口都市核

教育、文化、情報等の高次都市機能の一層の集積を図った知的・文化的な付加価値を創造する価値創造コアを形成します。



人や物、情報等の活発な交流の促進

県全域に質の高い都市的サービスを提供

### 地域核

生活・文化等の拠点として、行政サービス、教育、文化、福祉など、地域住民の日常生活を支える諸機能の整備充実を図ります。

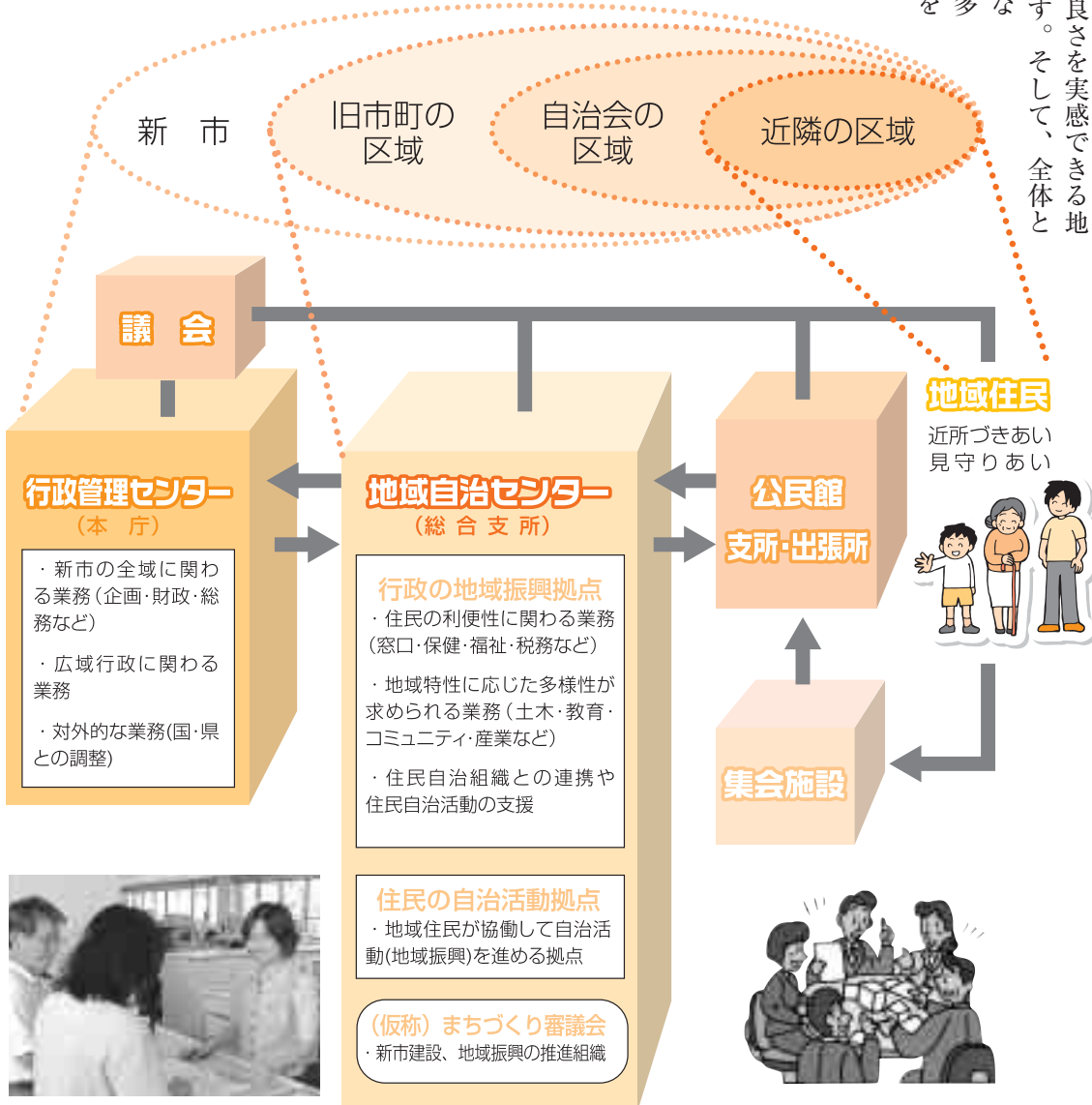
## 4 中核都市づくりの方針

### (1) 中核都市づくりの基本方向

新市は、交流を核にした都市発展に取り組み、国内はもとより世界との人や物、情報等の交流を促進し、新たな文化の創造や未来を見据えた産業を創出することにより、山口県の文化、経済をリードする中核都市としての機能強化を図ります。

## 5 地域自治の方針

新市は、各市町のこれまでのまちづくりの歩みを尊重し、文化や伝統を守り、各地域の自主性を重視した地域自治・住民自治の仕組みを構築し、住民が住み良さを実感できる地域社会を築きます。そして、全体として、個性豊かな地域が結合した多様性のある都市を形成します。



# 6 地域別整備の方針

新市の魅力を一層高めていくため、地域資源や将来的な方向性等を総合的に考慮し、新市を南北に連なる3つのエリアに分け、それぞれのエリアの個性を生かした地域づくりを進めます。

また、新市の一体的な発展を図るため、高次都市機能を集積する都市核と地域における生活・文化の拠点となる地域核が相互に連携するための交通・情報ネットワークの機能強化を図ることにより、多核連携型の都市を形成します。

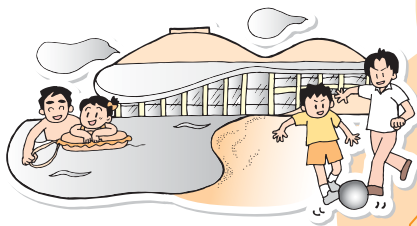


## 都市活力の創造エリア

このエリアでは、行政、経済、教育、文化等の中核としてふさわしい都市基盤整備を進めるとともに、高次都市機能の一層の集積と高度化を図り、にぎわいと利便性を備えた地域を形成します。特に、大学等との連携を強め、知的・文化的活動の拠点づくりを進めるとともに、広域交通網の結節点としての優位性を発揮して県内外との広域交流を進め、新市及び山口県の玄関口としての役割を担うことにより、新たな活力を創造する地域づくりを進めます。

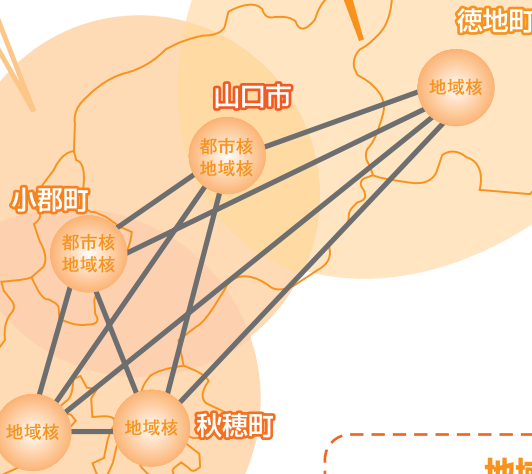
## 自然と文化発信エリア

このエリアでは、緑豊かな山林や田園、ホテルの舞う清流など、恵まれた自然環境や景観を保全するとともに、農林業の一層の高度化を図り、それらを生かして都市と農村の交流を進めます。また、大内氏や明治維新関連、重源上人にまつわる史跡等を保存し、まちづくりに積極的に生かしていくとともに、ゆとりのある快適な居住環境を創出して、全体として美しい景観の地域づくりを進めます。



## 憩いと躍動交流エリア

このエリアでは、広域交通網へのアクセス利便性を生かした魅力ある居住環境や企業立地環境を創出し、定住人口の増大を図ります。また、美しい海岸と豊かな海を保全しつつ、農水産業の振興と温暖で快適な気候を生かしたレクリエーション機能の整備充実を図るとともに、きらら浜の総合的なスポーツ施設や関連施設等の整備を促進することにより、新市の憩いと躍動的な交流を担う地域づくりを進めます。



## 地域一体性の強化

新市の一体的な発展を図るための軸となる道路の整備を促進するとともに、公共交通機関の維持・拡充を図り、機能的で効率的な交通体系を確立します。

また、各地域をネットワークする各種情報システムの構築を図るとともに、高速かつ大容量の情報流通・共有ができるよう情報通信基盤の整備を促進します。

これらにより、都市機能やそれぞれの地域資源をお互いに享受できるようにし、地域の一体性の強化につなげます。

## 7 基本目標と施策

将来都市像の実現に向けて、5つの基本目標を掲げ、あらゆる施策を総合的に推進していきます。

### 基本目標 ①

次代を担う心豊かなひとづくり

(施策の柱)

- ① 生涯学習の総合的な推進
- ② 個性や創造性を伸ばす教育の推進
- ③ 伝統文化の継承と市民文化の創造
- ④ スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ⑤ 国際交流の推進



### 基本目標 ②

ともに力を合わせ明日を拓く地域づくり

(施策の柱)

- ① 住民自治の拡充
- ② 多様な交流の促進と広域合併の推進
- ③ 市民活動の促進
- ④ 男女共同参画の推進
- ⑤ 市民の目線に立った行政の推進



### 基本目標 ③

健やかに笑顔で暮らせるまちづくり

(施策の柱)

- ① 保健・医療・福祉の総合的な推進
- ② 高齢者福祉の充実
- ③ 障害者福祉の充実
- ④ 児童福祉の充実
- ⑤ 生活安定対策の充実
- ⑥ 安全対策の充実



### 基本目標 ④

自然と調和した快適な環境づくり

(施策の柱)

- ① 自然環境の保全と文化的な都市環境の創出
- ② 交通・情報ネットワークの整備
- ③ 上下水道等の整備
- ④ 住宅・宅地の整備
- ⑤ 環境衛生対策の推進



### 基本目標 ⑤

にぎわいと活力に満ちた産業づくり

(施策の柱)

- ① 新産業の創出
- ② 商工業・サービス業の振興
- ③ 農林水産業の振興
- ④ 観光・コンベンションの振興
- ⑤ 勤労者対策の充実



## 8 未来を拓くプロジェクト (重点施策)

未来を拓くプロジェクトは、将来都市像の早期実現を図るため、戦略的・重点的に取り組む施策です。2つのテーマから、9つのプロジェクトを設定しています。

### テーマ1

#### 多彩な個性が輝き交流を広げる中核都市の形成

文化的な付加価値を創造する交流拠点づくりに向けて…

#### (1) 文化交流拠点づくりプロジェクト

山口都市核（価値創造コア）について、教育、文化、情報等の高次都市機能の一層の集積と高度化を図るとともに、中心商店街や湯田温泉といった都市活力を支えるにぎわい空間の活性化を進めることによって、市内外から多くの人や情報等呼び込み、知的・文化的な付加価値が創造される交流拠点づくりを進めます。



- 知的・文化的な都市活動拠点（中心市街地区）の形成
- 知的・文化的な交流を生み出すにぎわい空間の創出
- 大内文化を生かしたまちづくり

高速交通網を生かした広域的な交流拠点づくりに向けて…

#### (2) 交通交流拠点づくりプロジェクト

小郡都市核（広域交流コア）について、新山口駅周辺の広域交通・交流拠点としての基盤整備を進めるとともに、全県を管轄する業務、商業機能などの集積する拠点を形成することによって、交流人口の増大を図ります。さらに、新市及び山口県の玄関口としての機能強化を図り、全国的なネットワークの拠点としての役割を担う交流拠点づくりを進めます。



- 広域交通・交流拠点（新山口駅北地区）の形成
- 活力ある業務・商業拠点（新山口駅南地区）の形成
- 新たな都市空間の創造について調査研究

スポーツ・レクリエーションなどの活動・交流拠点づくりに向けて…

#### (3) 躍動交流拠点づくりプロジェクト

きらら浜をスポーツ・レクリエーション機能を中心とした広域的な交流・創造活動の拠点と位置づけ、総合的なスポーツ施設や関連施設等の整備を促進するとともに、時代のニーズに対応し、きらら浜の特性を生かした戦略的な躍動交流拠点としての整備を進めます。

また、全国規模の大会の誘致や広域的な集客力のあるイベント等を開催するとともに、山口きらら博の理念や成果を生かした多様なライフスタイルの創造拠点としての機能配置について調査研究を進めます。

- スポーツ・レクリエーション施設等の整備
- 多様で広域的な交流・連携・創造の促進
- きらら浜の拠点性の強化



海洋空間の多様な活用による交流拠点づくりに向けて…

#### (4) 海洋交流拠点づくりプロジェクト

環境保全に対する意識を醸成し、美しい海岸を保全しながら、温暖で快適な気候を生かしたレクリエーション機能等の整備充実を図るとともに、海洋資源を生かしたイベントの開催や良好な海浜環境を整えるなど、海洋空間の多様な活用を図ることにより、本地域の住民はもとより県内、県外からも訪れる人の増大を促進し、地域の活性化を図ります。

- レクリエーション機能等の充実
- 海洋資源を生かした交流の促進
- 良好な海浜環境の整備
- 美しい海浜環境の保全



自然と里山の調和による交流拠点づくりに向けて…

5) 里山交流拠点づくりプロジェクト

豊かな自然を背景に、自然と身近にふれあえる空間の創出を図るとともに、自然を活用した農林業の高度化を図りながら、地域で育まれた食文化の発信施設や地域産物の直売所、加工工房の整備や農業・農村資源等を活用した他地域との交流を促進します。

また、自然と生活の調和した地域コミュニティの活性化を図り、地域全体で魅力ある里山を形成します。

- 自然と身近にふれあえる空間の創出
- 付加価値の高い農林産物の提供
- 農林業等を通じた交流の促進
- 自然と人の調和した地域コミュニティの活性化



テーマ2

ひとがいきいき暮らせる生活都市の実現

住民の日常生活を支える地域の拠点づくりに向けて…

6) 地域にぎわい拠点づくりプロジェクト

山口、小郡、秋穂、阿知須、徳地の各地域核について、長年に渡って蓄積された生活・文化の拠点機能を生かしながら、様々な行政サービスの提供や地域振興の拠点となる地域自治センターの整備をはじめ、保健・医療・福祉・教育・文化、商業など地域住民の日常生活を支える諸機能の整備充実を図ります。



行政サービスの充実と地域振興の拠点づくり

- 教育・文化機能の充実
- 地域商業・サービスの振興
- 安全・安心に暮らせる体制の整備

住民が主役の豊かで住み良いまちづくりに向けて…

7) 人が主役のまちづくりプロジェクト

新市の住民どうしが交流を深めることによって、一体感を醸成し、みんな

が一体となって活力のあるまちづくりに取り組みます。また、各地域の自主性を重視した住民自治の拡充を図るとともに、住民の声を行政施策に反映していく仕組みを構築し、住民と行政が連携・協働して豊かで住みよい地域づくりを進めます。



- 地域の一体性の強化
- 住民自治の拡充
- 市民の意見を生かした施策の推進

子どもが健やかに育ち、未来を担う人づくりに向けて…

8) 未来を担う子ども育成プロジェクト

子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めるとともに、地域全体で子どもの健やかな成長を支えます。また、子どもが未来に夢と希望をもち、一人ひとりの個性や創造性を伸ば



す教育を充実することにより、新市の未来を担う人づくりを進めます。

- 安心して産み育てられる環境づくり
- 子どもの健やかな成長の支援
- 子どもの夢や個性、創造性を育む教育の充実

高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりに向けて…

9) 高齢者いきいきプロジェクト

高齢者がその豊富な知識と経験を生かし、健康で生きがいを持って暮らし、健康で生きがいを持って暮らしていけるよう、就労の機会の確保や生涯学習、スポーツ、余暇活動、ボランティア活動など、さまざまな分野でいきいきと活躍できる生涯現役社会づくりを積極的に推進します。また、保健・医療・福祉が密接に連携し、総合的なサービスを提供するとともに、安心して暮らすことのできる生活環境づくりを進めます。



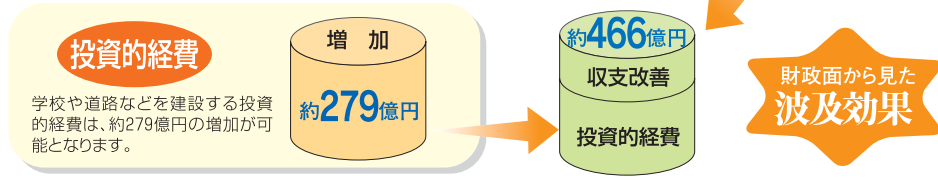
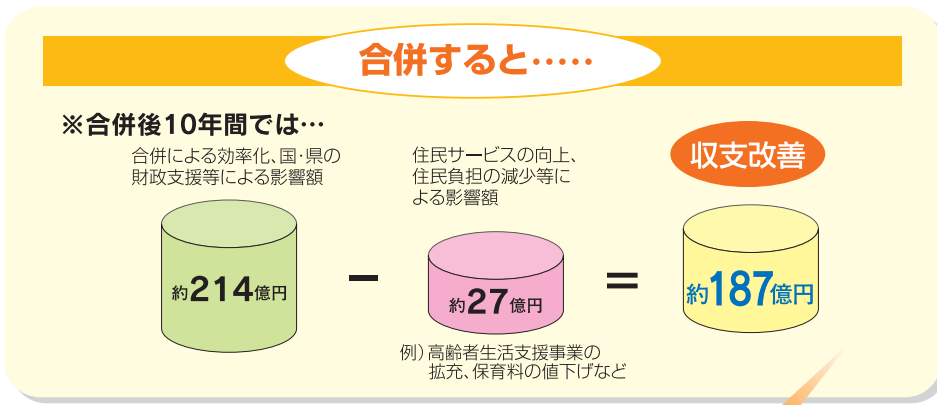
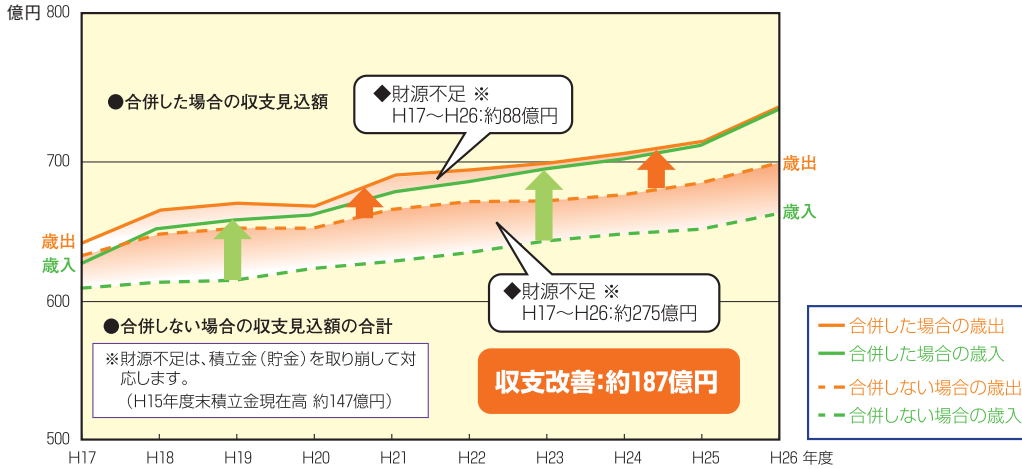
- 生涯現役社会づくりの推進
- 安心・安全な生活環境づくり

# 9 財政の見通し

新市は、安定した自主財源の確保や効率的な行政運営を進めるとともに、合併による国・県の財政支援を有効に活用することで、健全な財政運営を確保します。

合併しない場合には、全ての積立金（貯金）を取り崩しても、財政運営が困難な状況にあります。しかし、合併した場合には、合併しない場合よりも財源不足（赤字）が縮小され、収支改善約百八十七億円と投資的

経費の増加約二百七十九億円を合せると、約四百六十六億円の波及効果が期待でき、引き続き財政運営が可能となります。



## 各市町の合併担当窓口

山口市企画経営課中核都市推進室  
 TEL 083-934-2747  
 FAX 083-934-2642  
 E-mail: kikaku@city.yamaguchi.yamaguchi.jp

小郡町まちづくり推進課  
 TEL 083-973-2414  
 FAX 083-973-4892  
 E-mail: mati@town-ogori.jp

秋穂町企画課  
 TEL 083-984-8026  
 FAX 083-984-5299  
 E-mail: kikaku@aiocho.jp

阿知須町企画課  
 TEL 0836-65-4111  
 FAX 0836-65-4116  
 E-mail: kikaku@ajisu.com

徳地町企画財政課合併推進室  
 TEL 0835-52-1119  
 FAX 0835-52-1470  
 E-mail: gappei@town.tokuji.yamaguchi.jp

## 新県都のまちづくり計画（案）の全文がご覧いただけます。

新県都のまちづくり計画（案）の全文は、合併協議会事務局及び各市町の役所、役場などで閲覧できます。詳しくは、合併協議会事務局あるいは各市町の合併担当窓口までお問い合わせください。また、下記のアドレスからもご覧いただけます。  
<http://www.kenou.jp/>

## 編集・発行 山口県央部1市4町合併協議会

〒753-0070 山口市白石一丁目2番7号  
 TEL 083-934-6214  
 FAX 083-922-8520  
 E-mail: info@kenou.jp

